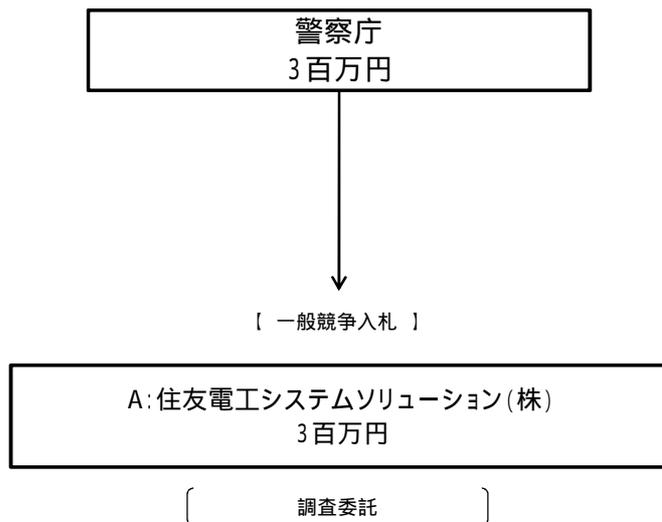


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	交通管制システム中央装置の整理統合に関する調査委託		担当部局庁	交通局		作成責任者	交通規制課長 和田 昭夫		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成25年度		担当課室	交通規制課					
会計区分	一般会計		政策・施策名	安全かつ快適な交通の確保 3 道路交通環境の整備					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通管制システムについて、現状の中央装置機器構成から、基本構成を見直し、新技術の導入、機能の統合分割、処理容量の拡大等の技術的検討を行うことにより、今後必要とされる「在るべき交通管制システム」となる高度化、効率化、低コスト化を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在の交通管制システムは、各都道府県警察が管制エリアの拡大とともに独自に機能の拡大を図ってきた結果、複雑なシステムとなり、機能の拡張性、最新技術の導入等が困難な状況であった。これを解消するために、交通管制システムで高度な信号制御を担っている「上位装置」と「下位装置」と呼ばれる交通管制システム中央装置についての機器構成及び機能の統廃合等の見直しを行うことで、交通管制システム全体の高コスト化、非効率化を排除し、現行の交通管制システムが抱えている問題点及び各装置の役割分担を明確化するための整理統合に関する調査委託を実施するものである。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	21	81			
		繰越し等	-	-	0	0			
		計	-	-	21	81			
	執行額	-	-	3					
	執行率(%)	-	-	14.3%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	(成果目標) 「上位装置」、「下位装置」の整理統合に関する報告書のとりまとめ (成果実績) 報告書数			成果実績	報告書数	-	-	1	1
				達成度	%	-	-	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	「上位装置」と「下位装置」の統合を視野に入れた「新交通管制システム」の検討委員会の開催 検証結果報告書、標準仕様書の作成			活動実績 (当初見込み)	回 件	-	-	5回 4件	-
						(-)	(5回 4件)	(5回 3件)	
単位当たりコスト	83,411千円 / 1事業			算出根拠	平成25年度までの総事業費(平成24年度執行額及び平成25年度予算額)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	機器開発費等	81							
	計	81							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			交通管制システムの中央装置を整理統合し、機器の集約及び効率化を図り、コストの削減を行なうことは、国として優先して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			<p>本事業における支出先の選定については、一般競争入札を採用し競争性を確保している。</p> <p>契約業者から「委員会開催場所を社内の会議室で実施するなど業務の効率化を図れること、報告書作成の多くを内部作業とする等の業務改善が図れること等の理由により大幅なコスト削減が可能であったため。」との報告を受けており、また、受託業者は保有している交通管制システムの知見をそのまま活用できる環境にあることから不用率が大きい理由は妥当であると考えている。</p>		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			<p>標準化した上位装置では、信号制御、情報提供等各ブロックに機能を分散させ総合的に交通管制システムとして運用している。整理統合後の本格導入時の不具合発生リスクを最小限に抑えるため実機で検証の上、仕様を作成する調査委託は実効性の高いものである。</p>		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁が直接契約をしていることから、支出先・使途を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 事業実施に当たっては、一般競争入札で行っており、競争性も確保されている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新24-6	平成24年	新24-6

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

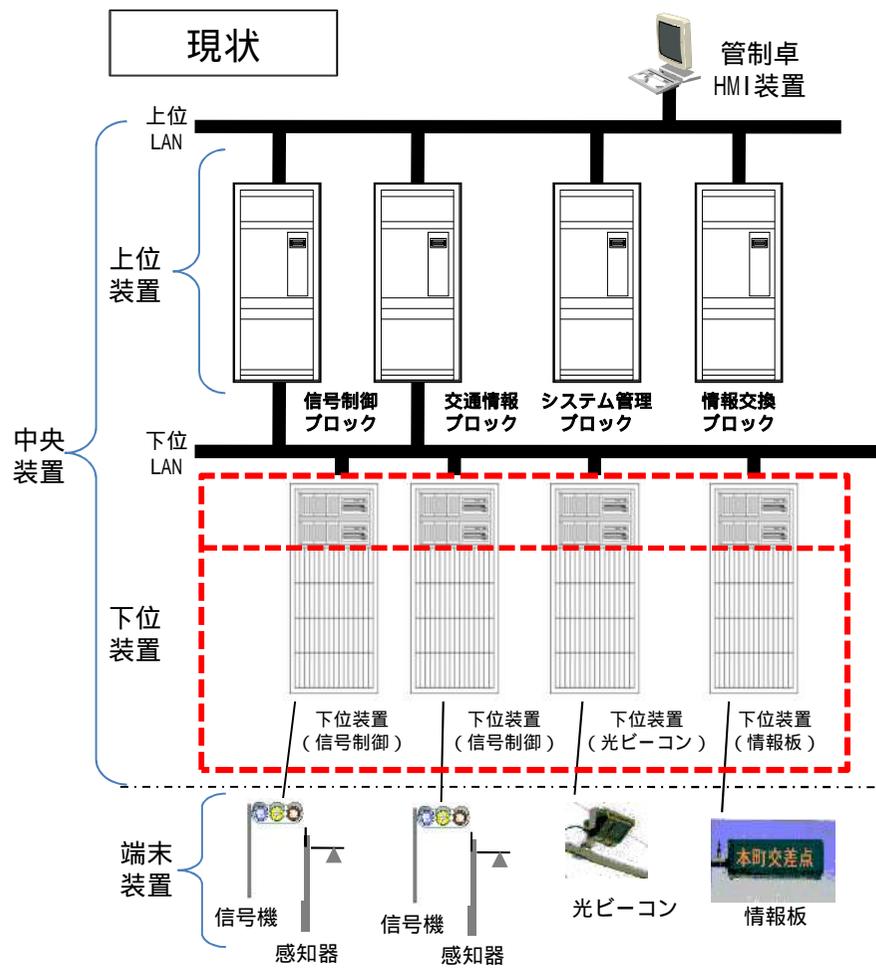
A.住友電気システムソリューション(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	調査委託	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	住友電工システムソリューション(株)	調査委託	3	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

交通管制システム中央装置の整理統合



整理統合

